



2016年10月27日

アウディ ジャパン株式会社  
プレス問い合わせ 03 - 5475 - 6309  
<http://www.audi-press.info/>

お客様問い合わせ 0120 - 598106  
アウディ コミュニケーションセンター

## アウディが新しいモータースポーツ戦略を発表： WEC から撤退しフォーミュラ E に参戦

- AUDI AG 取締役会会長 シュタートラー：「将来を見据え、電気自動車によるレースに注力」
- DTM 参戦は継続、モータースポーツに関わる従業員の雇用も維持

アウディはモータースポーツ戦略を再編。ル・マン 24 時間レースを含めた FIA WEC（世界耐久選手権）への参戦は、2016 年シーズンをもって終了します。その代わりとして電気自動車による FIA フォーミュラ E レーシング シリーズに本格参戦する方針を定めました。

10 月 26 日、AUDI AG 取締役会会長のルパート シュタートラーは、アウディのモータースポーツ部門で働く 300 名の従業員を前に、アウディが今後も競争力を維持し続けるため、課題に注力することが重要であることから、今回の戦略的決断が取締役会で下されたことを説明しました。アウディは今後もノイブルク及びネッカーズルムに在籍するモータースポーツ専門家たちのノウハウとスキルを、モータースポーツと生産モデルに活用していきます。

「将来を見据え、電気自動車によるレースに参戦することにしました」と、シュタートラーは述べています。「アウディのラインアップにおいて、今後電気自動車の比率が次第に高くなっていきます。アウディの先進技術を代表するモータースポーツのレースカーは、その技術力を示すものでなければなりません。」電気自動車による最初のレースシリーズであるフォーミュラ E は、2018 年から完全なバッテリー駆動による電気自動車をラインアップに加えるアウディのブランド戦略に完璧にマッチしたものだといえます。アウディは現在会社の歴史のなかで、もっとも大きな変革の時期にさしかかっています。FIA フォーミュラ E へのワークスチームとしての参戦は、来年 2017 年から開始される予定です。このレースは、未来に向けてもっとも大きな可能性を持ったレースシリーズと期待されています。そのためにアウディは、現行の 2016/2017 シーズンから、チーム ABT シェフラー アウディスポーツとのこれまでの協力関係を強化しています。アウディのワークスチームとしてのフル参戦に向けて、現在技術開発にも積極的に参加しています。

その一方で、DTM への取り組みは、これまで通り継続されます。2017 年シーズンは、Audi RS 5 DTM の後継モデルで参戦する予定です。アウディは、10 月の中旬にマニュファクチャラー及びチームの 2 つの部門で勝利を確定しました。2013 年には、マイク ロッケンフェラーが、DTM ドライバーズチャンピオンのタイトルをアウディにもたらしています。

FIA 世界ラリークロス選手権 (World RX) への参戦については、最終的な結論がまだ出ていません。現在行われている 2016 年シーズンでは、DTM のワークスドライバー、マティアス エクストロームが Audi S1 EKS RX quattro をドライブし、並み居るワークスチームを抑え、見事にチャンピオンのタイトルを獲得しました。今日までアウディとしての参画は、プライベートの EKS チームを支援するだけに留まっています。アウディは現在、この支援体制を継続するかについて検討中ですが、ラリークロス レーシングについても、現在、電動化が主要な議題として上がっています。

アウディが FIA 世界耐久選手権 (WEC) から撤退することは、偉大な成功の時代の終焉を意味しています。18 年間にわたって、アウディはル・マン プロトタイプ レーシングで、積極的に耐久レ

ースに参加してきました。その間アウディは、ル・マン 24 時間レースで 13 度の勝利を挙げるとともに、数々の技術的金字塔を打ち立てました。2001 年に TFSI エンジンでの最初の勝利を挙げ、2006 年には TDI エンジンを搭載したレースカーでル・マン史上初の優勝。さらに 2012 年にはハイブリッドのパワートレインを用いたスポーツカーで最初の優勝を成し遂げました。今日まで参戦した 185 のレースにおいて、アウディのル・マン プロトタイプは、合計 106 回の優勝、80 回のポールポジション、94 回のファステストラップを記録しています。ハイブリッドのドライブシステムを用いた Audi R18 e-tron quattro では、2 度にわたって FIA 世界耐久選手権 (WEC) のタイトルを獲得しています。さらにアウディは、2000 年から 2008 年にかけて 9 年連続で、その当時ル・マン プロトタイプによる世界でもっとも重要なレースシリーズであったアメリカン ル・マン シリーズ (ALMS) のタイトルを獲得し続けました。

「18 年間にわたってアウディに大きな成功をもたらしたプロトタイプレースを離れることは、もちろん非常に辛いことです」と、アウディ モータースポーツ責任者 Dr. ウォルフガング ウルリッヒは語っています。「Audi Sport チーム ヨーストは、文字通り WEC を席卷し続けました。この偉大な成功を分かちあったチームメンバー、ラインホルド ヨーストと彼のチーム、ドライバー、そしてパートナー、スポンサーの皆様に、心から感謝の意を表明したいと思います。本当に素晴らしい時間を過ごすことができました。」アウディは、ル・マン プロトタイプ レースに参戦し続けたことで、ブランドのスローガンである「Vorsprung durch Technik」(技術による先進) を世界に示すとともに、市販モデルに役立つ数多くのノウハウを獲得しました。

\*本リリースは AUDI AG 配信プレスリリースの翻訳版です。